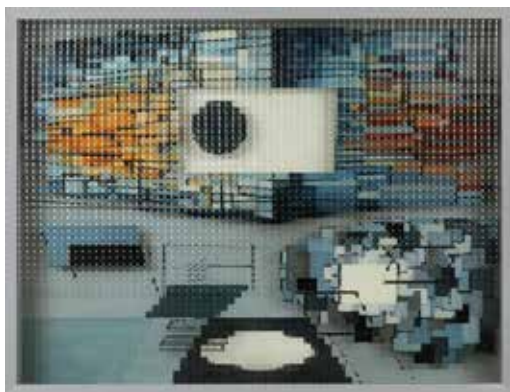


MOMAT コレクション 今期の見どころは 「プレイバック「日米抽象美術展」(1955)」、 企画展「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」関連展示も！

今期も見どころたくさん！2 部屋を使った小特集「プレイバック「日米抽象美術展」(1955)」は、当館が始まった頃の重要な展覧会を、再現 VR などを駆使して振り返る企画の第 2 弾です。そのほか、前会期に好評だったハイライトでの鑑賞のきっかけとなるような問いかけを示す試みや、作者のトーク映像と作品を組み合わせた試みは作品を入れ替えて継続。企画展「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」に関連して、都市に注目した展示もご紹介します。常に新しい MOMAT コレクションをお楽しみください。

会期：2024 年 4 月 16 日（火）～ 8 月 25 日（日）

会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー 4-2 階



【1】山口勝弘《ヴィトリヌ No.47（完全分析方法による風景画）》1955 年



【2】長谷川利行《カフェ・パウリスタ》1928 年

小特集 プレイバック「日米抽象美術展」(1955) (7・8 室)

1955 年、国立近代美術館（東京・京橋）で開催された「日米抽象美術展」を振り返ります。最新の美術動向を紹介し、書と絵画を並べるなど議論をかもした重要展覧会。同展で実際に展示された作品、残された資料や記録のほか、新たに制作した展覧会再現 VR を通して、当時の様子をご覧ください。

ポイント

- 当時の会場の様子をできるだけ忠実に再現した VR は必見。
- 当時のカタログを再現して、解説を加えた無料パンフレットも配布いたします。



【3】「日米抽象美術展」(1955) 展示風景

☑ 「MOMAT コレクション」では、13,000 点を超える所蔵作品から選りすぐりの約 200 点を、会期ごとに 3 フloor 12 の部屋に分けて展示します。19 世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 成相・小川

TEL : 03-3214-2565 (直通) FAX : 03-3214-2576

Email : pr-f@momat.go.jp



作者が語る（12 室）

2024 年 3 月、当館で過去に開催したアーティストトークの動画 21 本を、一挙にウェブサイトで公開しました。これを機に、菊畑茂久馬、辰野登恵子、堂本右美、中村宏の 4 作家のトーク映像とともに、作品を紹介します。作者の語りは新鮮な視点を引き出してくれます。充実していく当館のオンラインコンテンツにもご期待ください。

[YouTube プレイリスト](#)

ポイント

- 作者本人の人柄や、作品の背景にある秘密を知る貴重な機会。
- 堂本右美と中村宏の両者は、新収蔵作品もお披露目します。



[4] アーティスト・トーク第 18 回 辰野登恵子
広報用画像デザイン：林頌介

長谷川利行 東京放浪（4 室）

関東大震災後の東京を放浪し、生き様も画風も同じく嵐のようだった長谷川利行。TRIO 展関連展示として 4 室に 8 点を展示し、1 階で開催の企画展「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」に 1 点を出品。この 9 点が現在当館にあるすべての長谷川作品です。激しさとナイーブさが同居する絵画を通して、およそ 100 年前の東京の盛り場や下町の情景をお楽しみください。



長谷川利行《カフェ・パウリスタ》1928 年

ポイント

- 速筆で有名だった長谷川。中には 15 分で描き上げたという作品も。
- テレビ番組で鑑定されたことを機に当館に収蔵された《カフェ・パウリスタ》は人気作。



「MOMAT コレクション」では、13,000 点を超える所蔵作品から選りすぐりの約 200 点を、会期ごとに 3 フロア 12 の部屋に分けて展示します。19 世紀末から現代までの日本美術の歴史を、海外作品も交えながら、毎回多様な切口で紹介しています。

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 成相・小川

TEL : 03-3214-2565 (直通) FAX : 03-3214-2576

Email : pr-f@momat.go.jp

開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」(しょぞうさくひんてん もまっとこれくしょん)
(英) Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 4 階から 2 階

会期：2024 年 4 月 16 日(火)～8 月 25 日(日)

休館日：月曜日(ただし 4 月 29 日、5 月 6 日、7 月 15 日、8 月 12 日は開館)、4 月 30 日、
5 月 7 日、7 月 16 日、8 月 13 日

開館時間：10:00-17:00(金曜・土曜は 10:00-20:00)※入館は閉館 30 分前まで

観覧料：一般 500(400)円／大学生 250(200)円

※()内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の 17 時以降は、割引料金(一般 300 円、大学生 150 円)
※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者(1 名)は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b 出口)徒歩 3 分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時期開催：企画展「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」

2024 年 5 月 21 日(火)～8 月 25 日(日)

<https://www.momat.go.jp/exhibitions/558>

「TRIO パリ・東京・大阪 モダンアート・コレクション」のチケットで、入館当日
に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」とギャラリー 4「新収蔵&初公開」
ジェルメーヌ・リシエ《蟻》インターナショナル編」もご覧いただけます。

【TRIO 展 プレスお問い合わせ先】

TRIO 展 ユース・プランニングセンター内 広報事務局 担当：池袋／平野

〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町 9-8KN 渋谷 3 ビル 4F

TEL: 03-6821-8466 Fax: 03-6821-8869 Email: trio2024@ypcpr.com



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。
1952 年に開館し、2022 年 12 月 1 日に開館 70 周年を迎えました。最大の特徴は
重要文化財 18 点(うち 2 点は寄託)を含む 13,000 点を超える国内最大級の
コレクション。19 世紀末から今日まで、国を代表する多数の名作を所蔵して
います。都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室
「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューを
お楽しみいただけます。

ご取材お待ちしております！

東京国立近代美術館には、「コレクション情報発信室」があります。所蔵品を管理する美術課に
所属し、作品の魅力や楽しみ方を広報する部署です。当館の所蔵する日本随一の作品群は、まだ
十分に知られていません。いつでも気軽にご連絡ください。コレクションをよく知る研究員が、
みなさまからのご取材を心よりお待ちしております。



【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課 | 広報担当 成相・小川

TEL: 03-3214-2565(直通) FAX: 03-3214-2576

Email: pr-f@momat.go.jp

